

Game Report

開催場所：日本経済大学

試合区分：第 26 回全九州大学バスケットボールリーグ戦

試合期日：2019 年 11 月 2 日(土)

試合時間：15：00～

CC：大久保 好純

U1：萩尾 繁治

U2：上山 正智

| | | | | | | |
|------|---------|----|-------|----|---------|--------|
| 福岡大学 | ○ 69 | 23 | —1st— | 21 | ● 68 | 東海大学九州 |
| | | 18 | —2nd— | 21 | | |
| | | 14 | —3rd— | 19 | | |
| | | 14 | —4th— | 7 | | |

第1クォーター

福岡大#46今林のレイアップシュートで試合開始。前半、東海大は#70森口のジャンプシュートなどで得点を重ねていき、福岡大は#12秋山を中心にゴール下で得点を重ねていく。中盤以降、セットプレーでノーマークを作り得点を伸ばしていく福岡大に対して、東海大は早い展開から上手くスペースを作り得点に繋げる。福岡大#1小林がフリースロー2本をきっちり沈め、23-21の福岡大リードで第1クォーターを終える。

第2クォーター

第2クォーター開始早々に、東海大#23松井が3Pシュートを決め、流れを掴んだ東海大は得点を伸ばしていく。流れを渡したくない福岡大は残り6:41、タイムアウトを請求する。その後、福岡大#72山田がバスケットカウントを決め、会場を沸かせる。中盤以降、両チームともにディフェンスの手を緩めることはなく、得点が伸びない均衡した展開が続く。最後は、東海大#70森口がブザービートを決め逆転し、41-42の東海大一步リードで第2クォーターを終える。

第3クォーター

開始早々、福岡大#12秋山がゴール下での力強いプレーで得点し逆転する。しかし、東海大は#23松井、#70森口がジャンプシュートを決め、再び逆転する。東海大#1立石がレイアップシュートを決め、点差を9点にまで広げ流れを掴んだかに思えたが、福岡大#72山田が3Pシュートを決め食らいつく。その後は前半同様、激しい攻防が続き55-61の東海大リードで第3クォーターを終える。

第4クォーター

最終クォーターに入っても、ディフェンスの手を緩めることのない両者だが、東海大#13久保、#23松井が連続してジャンプシュートを決め、さらに得点を重ねていく。対する福岡大は#24林田、#12秋山のポストプレーで得点に繋げる。中盤、追い付きたい福岡大は、残り5:18でタイムアウトを請求する。その後、福岡大は#46今林が鋭いドライブで得点を決め、チームに勢いをつける。その後も、福岡大#52青山が速攻でファウルを誘いフリースローを2本沈め、じわじわと追い上げる。追いつかれたくない東海大は、#6石井を中心に積極的に3Pシュートを狙うも、得点する事が出来ない。終了間際、福岡大は必死にオフェンスリバウンドに食らいつき、再び攻撃のチャンスをつくり、#24林田が4年生の意地を見せ、3Pシュートをブザービートで決め逆転し、69-68で福岡大が勝利を収めた。